

第 9 回リフレクション会議について(令和 7 年 1 月 8 日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

協議内容

- 子どもの主体性を育む教育について ～概念型探究学習の取り組み～

内容

第 9 回の会合では、宮川小学校の 3 年生で実践された概念型探究学習の取り組みについて、森教諭から報告がありました。宮川小学校の 3 年生は、生物多様性や自然を守るために自分たちの行動を見直すことを目的として、芦屋川を探検したり、地域の環境団体の取り組みについて学んだりしました。

参加した教員から質問が集まったのは、森教諭が用意したワークシートです。

森教諭は授業を行なうにあたり、「様式が異なるワークシート」を複数種類用意して授業に臨まれていました。

子どもたちは、自分の興味・関心や、得意・不得意に応じて、自分にちょうどよいワークシートを選択し、自分の考えを表現します。これによって、従来の文章だけによる記載ではなく、図やグラフ、イラストなど視覚資料を用いながら多様な表現方法で自分の考えを表現する子どもの姿が生まれました。

また、森教諭が組み込まれた複数回の体験活動にも良い効果が見られたとの報告がありました。

具体的には、友達と協力しながら実際に芦屋川探検を行なうことで、これまでとは異なる新しい仲間との人間関係が構築されたり、自然と人間の活動とのかかわりについて深く理解したりする子どもの姿が見られたそうです。

講師の山口先生からは、概念は「経験の総体」であることから、体験的な活動を充実させることが子どもの概念を構成する上で大切であるという助言がありました。また、概念は子ども一人ひとりによって異なることから、子ども同士が対話する機会を十分にとることで、概念に深まりが出るとの助言もいただきました。